

# 株式会社レスターホールディングス

## グループ事業概要 並びに 2019年3月期 決算補足説明資料

2019年5月22日



# 目次

## グループ事業概要

### 2020年3月期 通期連結業績予想

2020年3月期 通期連結業績予想	12
株主還元方針	14

### 2019年3月期 決算(連結)概況

株式会社UKCホールディングス	16
株式会社バイテックホールディングス	23

# グループ事業概要



**2019年4月1日**  
**株式会社レスターホールディングス スタート**



**エレクトロニクス総合商社を目指します**

# 統合までの道のり

2018年9月	株式会社UKCホールディングスと株式会社バイテックホールディングスの経営統合のお知らせ
2018年11月	2019年3月期 第2四半期決算発表
	株式会社UKCホールディングスと株式会社バイテックホールディングスの経営統合による統合効果及び株主還元方針に関するお知らせ
	臨時株主総会開催
2019年2月	2019年3月期 第3四半期決算発表
2019年3月	株式会社バイテックホールディングスとの経営統合にかかる基準日後株主への議決権付与に関するお知らせ
2019年4月	株式会社レスターホールディングス スタート

# 経営理念

## 経営理念・ミッション

Management Principles and Mission

**情報と技術で、新しい価値、サービスを創造・提供し、  
社会の発展に貢献します**

We help society evolve by leveraging information and technology to create and deliver new value and services.

## ビジョン

Vision

**あらゆるニーズに対応できる  
エレクトロニクス総合商社を目指します**

We aim to be a comprehensive electronics trading company that accommodates all manner of stakeholder needs.

**世界・社会貢献・共創と革新**

“Global (in view and scale)” “Social Contribution” “Collaboration and Innovation”

## バリュー

Values

**・多様な考えを受け入れ、共創を通じて、新しい文化や価値を創り出します**

Through collaboration, we reflect diverse points of view as we create new cultures and values.

**・常に高い目標を掲げて、革新的な発想と情熱で、挑戦し続けます**

Through innovative ideas and passion, we take on challenges and aim for higher targets.

**・活躍の場を世界へと広げ、持続可能な社会の発展に貢献します**

By expanding our business arena to encompass the entire world, we contribute to sustainable social evolution.



# 目指す姿

2020年3月期(統合初年度)  
【改 革】

成長基盤の確立  
融合の完了  
事業最適化

2021年3月期～  
【飛 躍】

革新的な経営  
共創の深化  
事業多角化

売上高  
一兆円超

エレクトロニクス  
総合商社

シナジーの創出



# 事業領域



デバイス

EMS

調達

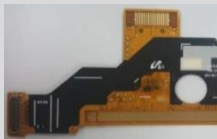
電子機器

システム機器

エネルギー

新電力

植物工場



半導体及び電子部品  
事業

調達  
事業

電子機器  
事業

環境エネルギー  
事業

エレクトロニクス総合商社



# 事業概要

## 半導体及び電子部品事業

### ■デバイス

お客様の多様なニーズにお応えすべく、ソニー製をはじめとした国内外の最先端半導体・高機能電子部品やエネルギー・環境関連の商材を取り扱っております。当社グループのグローバルネットワークを通じて、幅広い商品群と高度なサポート、技術サービスにより、最適なソリューションをご提供いたします。

### ■EMS

最先端の実装技術ときめ細やかな購買、生産管理、品質保証機能を有する中国東莞やベトナムの自社工場において、お客様のニーズにマッチした高品質な電子機器受託製造サービスをご提供いたします。

### ■信頼性試験・環境物質分析サービス

半導体・電子部品・電気電子製品等に対する各種評価試験や有害物質化学分析等のご依頼に長年の経験に裏打ちされた確かな専門技術でお応えいたします。製品の開発から販売に関わる皆様に信頼されるパートナーでありたいと願い日々技術を研鑽し、サービス向上に努めています。

### ■システムエンジニアリング

経験豊富なエキスパートエンジニアが、LSI設計、評価、テスト、センサー技術等の特徴ある専門性を最大限に発揮し、高品質な設計サービスを通じて半導体、LSIマーケットに貢献いたします。



# 事業概要

## 調達事業

お客様のニーズにマッチしたスキームの提供により、グローバルな調達を支援する「調達トレーディングサービス」と、調達関連のアウトソーシングを請負う「調達付帯業務受託サービス」を通じ、お客様のモノづくりに貢献いたします。

## 電子機器事業

### ■電子機器

放送、ビジネス、教育、医療、公共の場、F.A、セキュリティ等の様々な分野の多岐にわたるお客様のニーズに対して、最先端の映像・音声技術やデータ処理技術を通じて、最適なソリューションをご提供いたします。

### ■計測機器

電子計測器のご紹介から測定技術、利用技術、システム技術・設計のノウハウ、お客様のニーズに適したアプリケーションをご提供いたします。さらに修理や計測校正サービスなどお客様の研究・開発から販売に至るあらゆる段階においてサポートしてまいります。

### ■システム機器

当社グループに蓄積されたデジタル・通信等の基幹技術をベースに、ソニーの非接触ICカード(FeliCa)をはじめとしたNFC(近距離無線通信)技術を融合し、「セキュリティ・セーフティ」をキーワードとした応用製品の開発、製造、販売を行っています。独自性の高いシステム機器を通じて、より安全で快適な生活を提案してまいります。



# 事業概要

## 環境エネルギー事業

### ■エネルギー

全国にメガソーラー発電所を展開、さらに北海道エリアでは、風力発電所を事業展開するなど再生可能エネルギーの導入および普及に向けて、地域と共存した運営管理サービスを行っています。

### ■新電力

再生可能エネルギーを中心に、発電および電力の供給業務、電力の売買業務および売買の仲介業務、電力事業に関するコンサルティング等のサービスを提供し、総合エネルギーマネジメント事業を目指しています。

### ■植物工場

大手スーパーマーケット、コンビニエンスストア、外食チェーン等へ向けて完全密閉型の植物工場で生産した安全性の高い野菜を出荷しています。現在5工場が稼働中であり(2019年3月現在)、うち4工場で農業の国際規格GLOBALG.A.P.(Good Agricultural Practice)を取得、5工場目も2019年に認証の取得予定です。今後さらに事業展開を進めてまいります。

# 2020年3月期 通期連結業績予想



# 2020年3月期 通期連結業績予想

(単位:百万円)	2019年3月期 (参考)※	2020年3月期 (予想)	前年同期比	
			増減額	増減割合
売上高	394,291	410,000	15,708	4.0%
営業利益	8,646	8,000	△ 645	△ 7.5%
経常利益	6,998	6,500	△ 498	△ 7.1%
親会社株主に 帰属する当期純利益	3,954	4,000	45	1.1%

※2019年3月期の業績は株式会社UKCホールディングス及び株式会社バイテックホールディングスの単純合算

<補足>

半導体及び電子部品事業における仕入先（中華映管股份有限公司）の会社更生手続の申立てによる影響や、統合によるのれんの算定が現時点では困難なため、確定次第、速やかにお知らせいたします。



# 株主還元方針

**総還元性向※：50%以上**

※配当及び自己株買いによる株主還元の合計金額を純利益で除した指標

- 中期的に安定的かつ継続的な配当の維持
- 将来の成長に向けての戦略投資を積極的に実施することで、  
更なる利益の拡大・継続的な資本効率等の改善と向上を実現

# 2019年3月期 決算(連結)概況



# 株式会社UKCホールディングス

## 2019年3月期決算概況





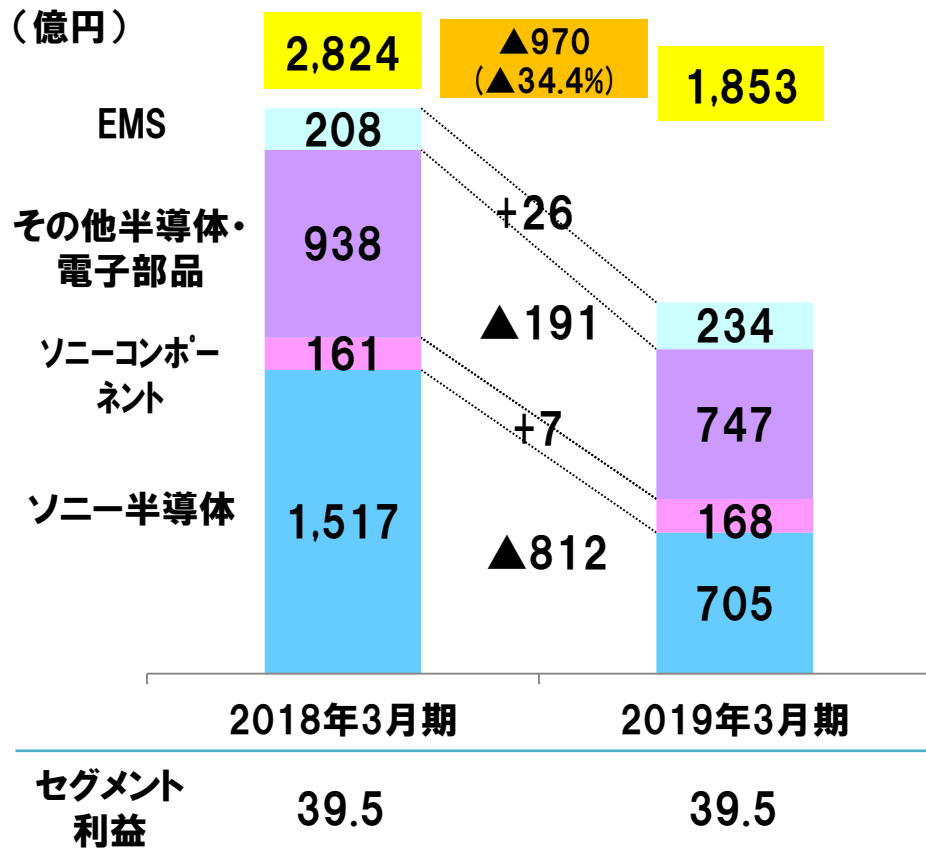
# 2019年3月期 ハイライト

(単位:百万円)	2018年3月期実績		2019年3月期予想 (2018/5/11公表)		2019年3月期実績		前年同期比		予想比	
	金額	構成	金額	構成	金額	構成	増減金額	増減率	増減金額	増減率
売上高	301,449	100.0%	220,000	100.0%	205,771	100.0%	▲95,678	▲31.7%	▲14,228	▲6.5%
売上総利益	15,771	5.2%	14,800	6.7%	15,513	7.5%	▲257	▲1.6%	+713	+4.8%
SGA	11,386	3.8%	10,300	4.7%	11,005	5.3%	▲381	▲3.3%	+705	+6.8%
営業利益	4,384	1.5%	4,500	2.0%	4,508	2.2%	+124	+2.8%	+8	+0.2%
経常利益	3,908	1.3%	4,000	1.8%	4,198	2.0%	+290	+7.4%	+198	+5.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,129	0.7%	2,800	1.3%	2,192	1.1%	+63	+3.0%	▲607	▲21.7%
EPS(円)	135.64		178.38		139.69					
ROE	5.6%				5.6%					

- 売上高:前年同期比▲956億円(▲31.7%) 商流変更及び収益性等を重視した既存事業の見直し等により減収
- 売上総利益:前年同期比▲2.5億円(売上総利益率+2.3%)  
 相対的に利益率の低い製品の売上割合が減少し、売上総利益率は大幅向上
- 営業利益:前年同期比+1.2億円 高付加価値事業の増加と過年度貸倒引当金回収等によるSGA削減▲3.8億円
- 経常利益:前年同期比+2.9億円 営業利益増に加え、為替差損益が改善(前年同期▲0.9億円⇒+3.2億円)
- 親会社株主に帰属する当期純利益:前年同期比+0.6億円  
 統合関連費用が発生したものの、経常利益の増加に加えて、  
 前年度の特異要因(過年度決算訂正関連費用)の影響がなくなり、微増



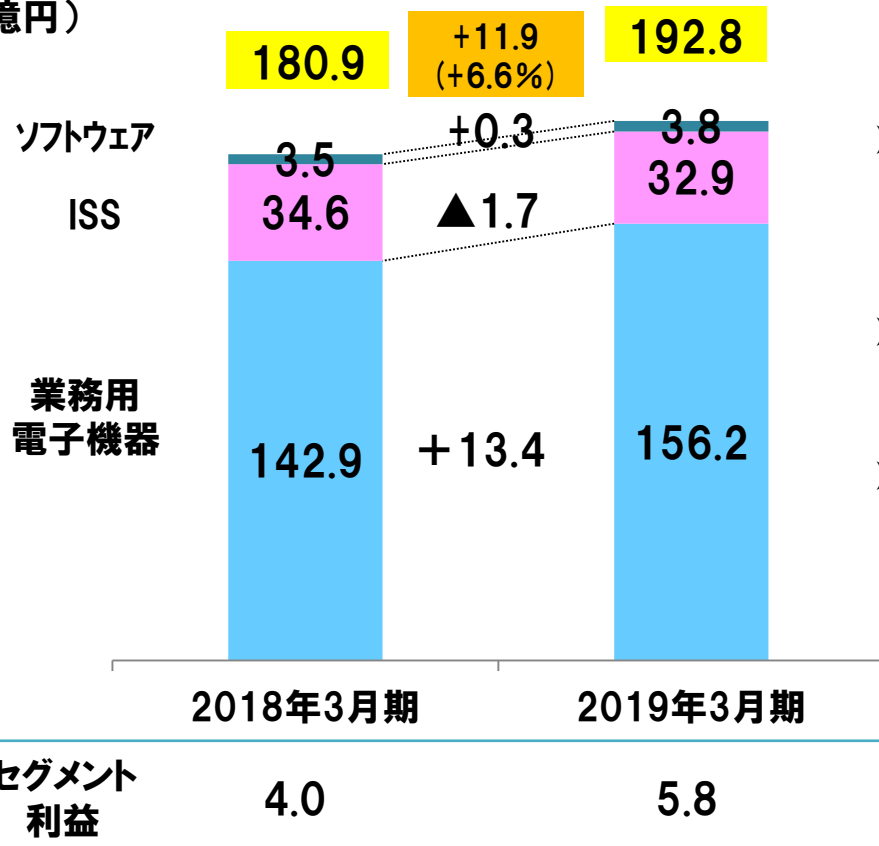
# 2019年3月期 半導体及び電子部品事業



- ソニー半導体  
サムスングループ向けソニー半導体・電子部品の販売終了により減収
- その他半導体・電子部品  
プロダクト採算性改善策により減収も、車載向けタッチパネルや電子材料は堅調
- EMS  
中国工場の稼働改善やベトナム工場の稼働堅調により増収
- セグメント利益  
プロダクトミックスの変更による収益力強化と貸倒引当金の回収によるSGAの改善等により微増  
セグメント利益率は前年同期1.4%から2.1%へ改善

# 2019年3月期 電子機器事業

(億円)

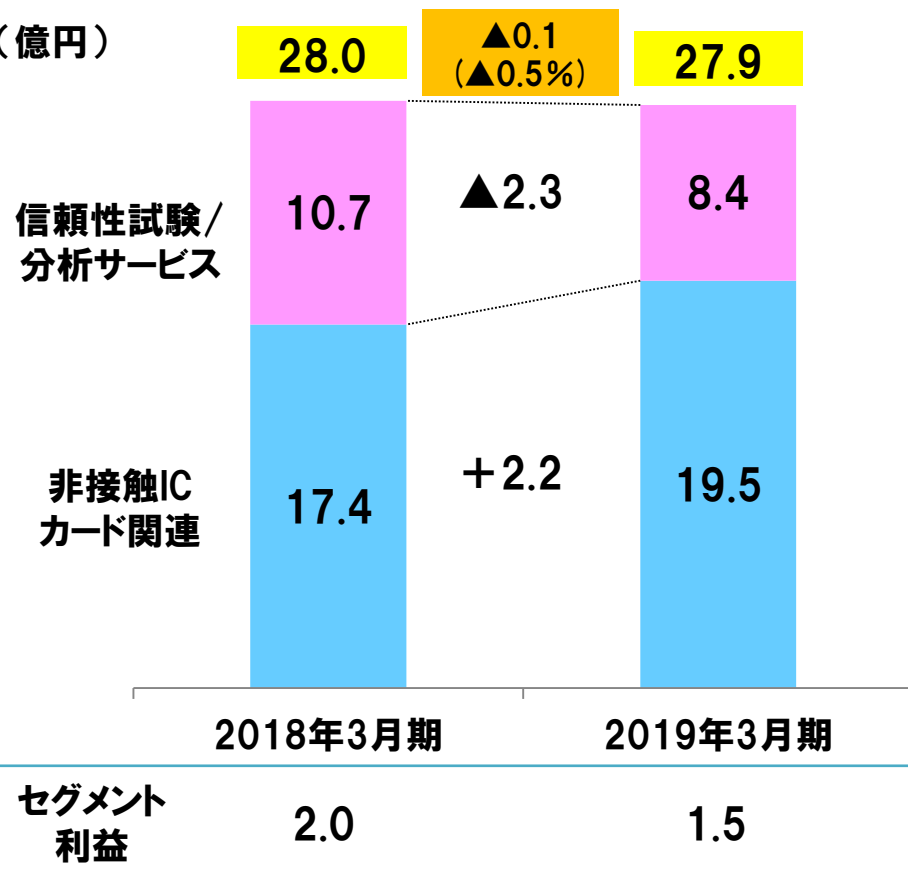


- 業務用電子機器ビジネス  
放送局及びポストプロダクション向けを中心に大型案件増により増収
- イメージセンシングビジネス  
下期に半導体・液晶製造装置関連需要が停滞し微減
- セグメント利益  
増収効果に加えて、高付加価値ソリューションビジネスの伸長、コストの徹底的な見直し等により、セグメント利益は大幅増



# 2019年3月期 システム機器事業

(億円)



- 非接触ICカード関連ビジネス
  - ・電子マネーの用途の広がりは継続
  - ・12月に市場導入した非接触クレジットカード対応電子マネー端末の効果により増収
  - ・オフィス需要向け入出管理ビジネスの伸長
  
- 信頼性試験・環境物質分析サービス※
  - 車載、太陽光向け半導体及び電子部品試験が堅調
  - ※第4四半期より半導体及び電子部品事業に包含 (4Q売上高:3.4億円)
  
- セグメント利益
  - 上記セグメント移管により、セグメント利益は減少



# 2019年3月期 財政状態 (バランスシート)

(単位:百万円)	18/3月末	19/3月末
現預金	18,162	13,511
売上債権*	62,166	50,583
たな卸資産	22,460	20,984
貸倒引当金	-626	-776
その他	5,263	3,987
流動資産計	107,426	88,289
有形・無形固定資産	3,363	3,636
固定化営業債権	10,440	9,774
貸倒引当金	-11,635	-10,515
その他	6,548	6,175
固定資産計	8,717	9,071
<b>総資産</b>	<b>116,144</b>	<b>97,361</b>
仕入債務	32,554	25,130
短期借入金	35,518	28,095
1年内返済長期借入金	2,300	-
その他	4,965	4,651
流動負債計	75,338	57,878
固定負債計	1,036	624
<b>純資産</b>	<b>39,768</b>	<b>38,858</b>
<b>自己資本比率</b>	<b>33.9%</b>	<b>39.4%</b>
<b>BPS(円)</b>	<b>2,506.08</b>	<b>2,446.29</b>

	前期末比	主な増減要因
<b>総資産</b>	<b>▲18,783</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現預金 ▲4,651百万円</li> <li>・売上債権* ▲11,582百万円</li> <li>・たな卸資産 ▲1,475百万円</li> </ul>
<b>負債</b>	<b>▲17,872</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕入債務 ▲7,423百万円</li> <li>・短期借入金 ▲7,423百万円</li> <li>・1年内返済予定長期借入金 ▲2,300百万円</li> </ul>
<b>純資産</b>	<b>▲910</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親会社株主に帰属する当期純利益 2,192百万円</li> <li>・利益剰余金からの配当 ▲1,451百万円</li> <li>・その他の包括利益累計額の変動額 ▲1,679百万円</li> </ul>
<b>自己資本比率</b>	<b>+5.6%</b>	総資産の圧縮による増加

\*電子記録債権含む



# 2019年3月期 財政状態 (キャッシュ・フロー)

(百万円)	18年3月期	19年3月期	主な増減要因	
営業 CF	▲3,793	+10,067	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税金等調整前当期純利益</li> <li>・売上債権の減少</li> <li>・たな卸資産の減少</li> <li>・仕入債務の減少</li> </ul>	2,551百万円 11,355百万円 1,448百万円 ▲7,133百万円
投資 CF	▲176	▲1,199	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有形固定資産の取得</li> <li>・定期預金の払戻による収入</li> <li>・定期預金の預入による支出</li> <li>・投資有価証券の取得</li> </ul>	▲873百万円 1,200百万円 ▲950百万円 ▲363百万円
財務 CF	+2,247	▲13,133	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期借入金の純減</li> <li>・長期借入金の返済</li> <li>・配当金の支払額</li> </ul>	▲9,247百万円 ▲2,300百万円 ▲1,455百万円
現金及び 現金同等物	17,362	12,961		

# 株式会社バイテックホールディングス

## 2019年3月期決算概況



# 業績ハイライト

【決算のポイント】

(単位:百万円)

売上高	調達事業が伸長した結果、前年同期比101.4%を達成
経常利益	営業利益率改善と為替差損計上により、前年同期比8.8%増
ROE	前年比1.0pt悪化したが、10%以上は維持

	2018年3月期	2019年3月期	対前年同期比 増減率
売上高	185,883	188,519	1.4%
売上総利益	10,991	12,145	10.5%
営業利益	3,130	4,137	32.2%
(営業利益率)	(1.7%)	(2.2%)	—
経常利益	2,573	2,799	8.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,840	1,761	▲4.3%
1株あたり当期純利益(EPS)	129.93円	123.35円	—
自己資本当期純利益率(ROE)	11.7%	10.7%	—

※PL換算レート(円/米ドル):2018/3期 110.81円、2019/3期 110.99円





# 貸借対照表の推移

【ポイント】

(単位:百万円)

資産	現預金が11億、棚卸資産が58億増加				
負債	調達事業拡大に伴う資金調達により借入金が30億増加				
純資産	利益剰余金が7億、非支配株主持分が15億増加				
	2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末	2019年3月末	対前期増減額
流動資産	42,173	45,435	55,532	58,903	3,370
固定資産	18,698	18,503	21,441	22,901	1,460
資産合計	60,871	63,939	76,974	81,805	4,831
流動負債	33,684	35,841	45,031	45,103	72
固定負債	13,821	12,965	15,635	18,031	2,396
負債合計	47,505	48,807	60,666	63,134	2,468
純資産合計	13,365	15,131	16,307	18,670	2,362
負債純資産合計	60,871	63,939	76,974	81,805	4,831
自己資本比率	21.8%	23.0%	20.6%	20.4%	—

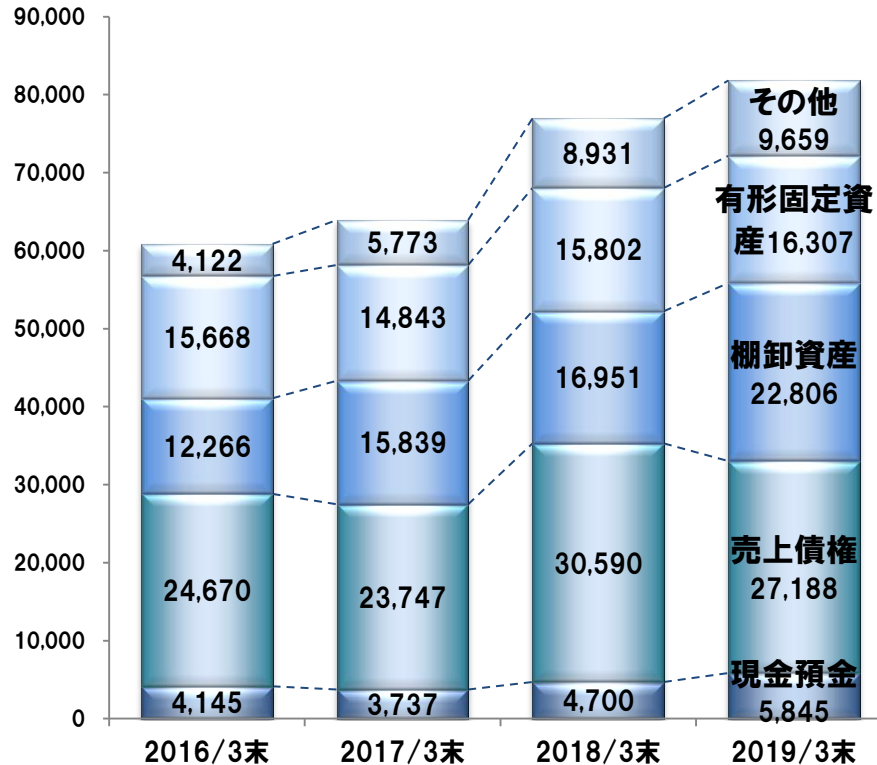
※BS換算レート(円/米ドル):2018/3月末 106.24円、2019/3月末 110.99円



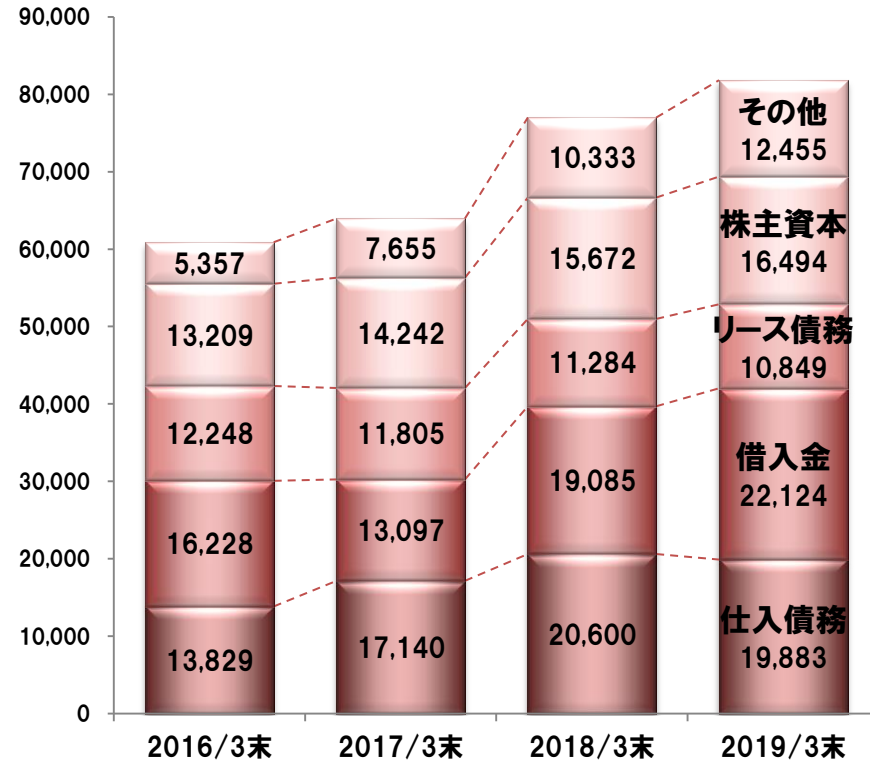
# 貸借対照表(主要科目)の推移

(単位:百万円)

## 資産



## 負債・純資産



※借入金、リース債務は短期、長期の合計



# 連結営業利益増減要因分析

## 【営業利益】

(単位:百万円)



# 事業セグメント別情報

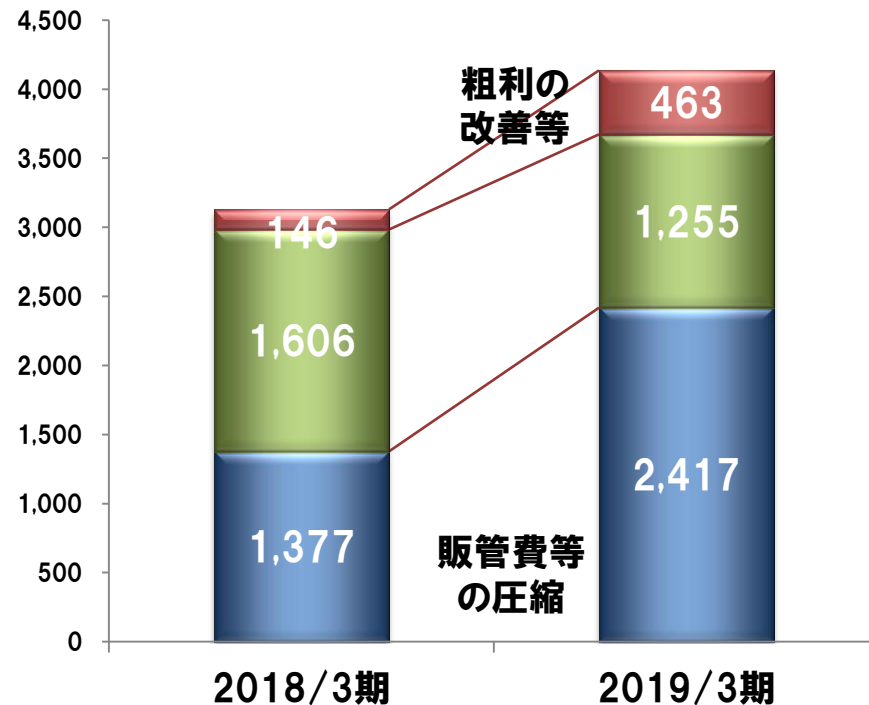
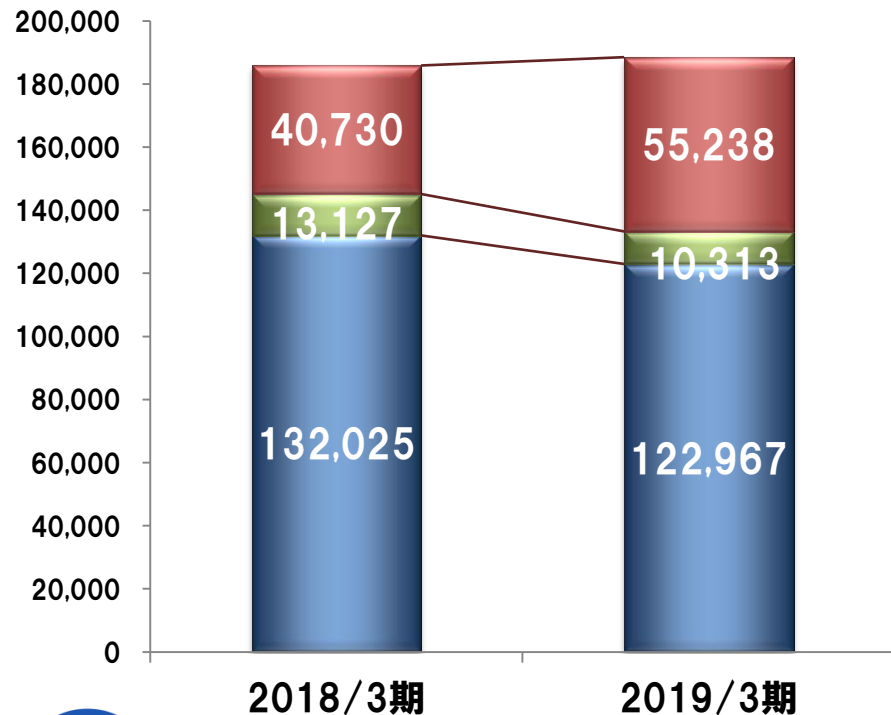
## 売上高

## 営業利益

(単位:百万円)

■ デバイス ■ 環境 ■ 調達

■ デバイス ■ 環境 ■ 調達



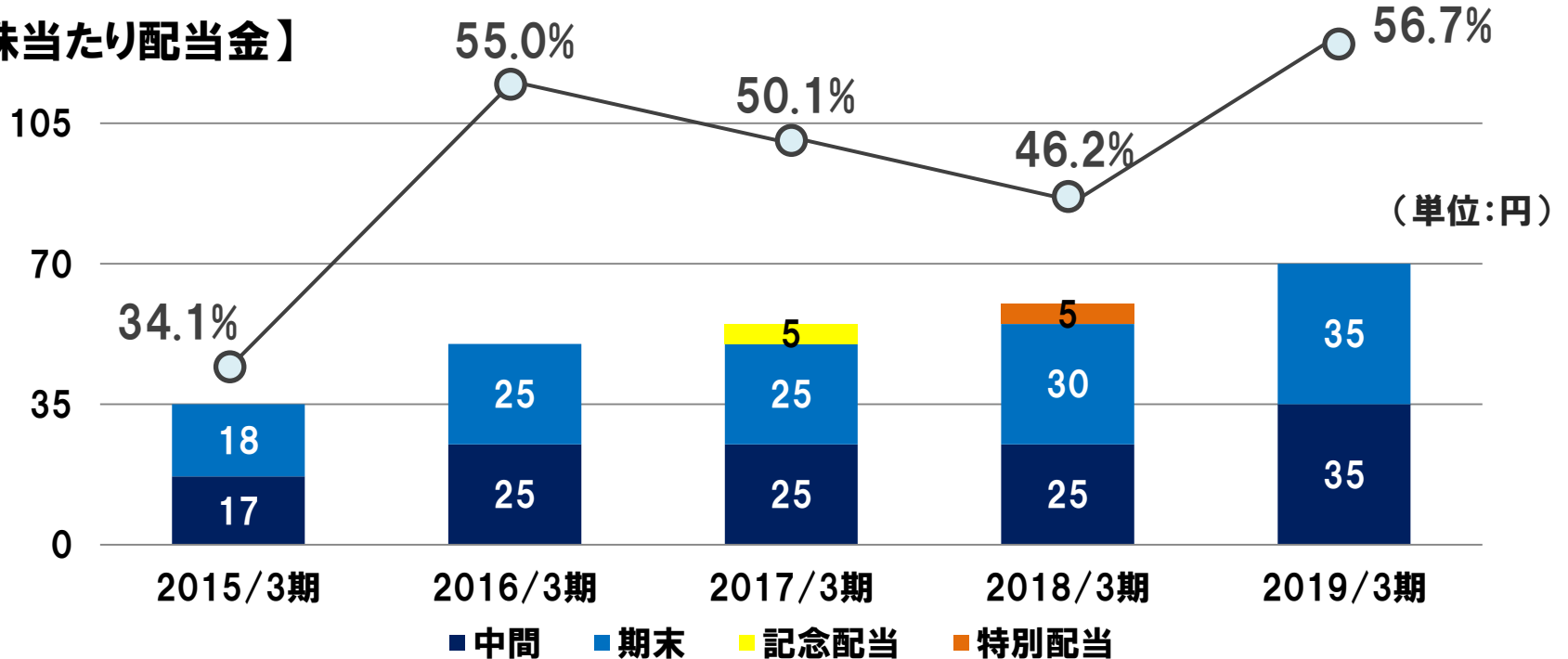
# 配当の実績

## 【配当の基本的方針】

積極的かつ安定的な利益還元

連結配当性向 目標50%

## 【一株当たり配当金】



## ＜お問い合わせ先＞

株式会社レスターホールディングス

広報・CSR・IR部 高嶋、吉田、渡邊

Mail to: [irpr@restargp.com](mailto:irpr@restargp.com)

---

### ＜将来の見通しに関する注意事項＞

このプレゼンテーションに掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、様々な外部要因、内部要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となる可能性があります。

実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動ならびに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。



# Appendix



# 売上高推移（ご参考）

単位：百万円

	10.3月期	11.3月期	12.3月期	13.3月期	14.3月期	15.3月期	16.3月期	17.3月期	18.3月期	19.3月期	Restar 20.3月期予想
UKC	215,162	303,585	252,991	278,160	301,428	253,811	276,709	273,752	301,449	205,771	410,000
VITEC	121,782	130,417	122,662	102,242	109,038	118,703	145,415	138,841	185,883	188,519	
合計	336,944	434,002	375,653	380,402	410,466	372,514	422,124	412,593	487,332	394,290	

